TOA

IP 告知端末

設置説明書
NX-220HU

このたびは、TOA IP 告知端末をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの設置説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目　次

安全上のご注意 1
概　要 2
使用上のご注意 2
各部の名称とはたらき 3
　上　面 3
　左側面 3
　右側面 4
　前　面 4
　底　面 4
壁に取り付けるとき 5
接続のしかた 6
ブラウザーでの設定のしかた 7
　ブラウザー使用にあたって 7
　ブラウザーでの接続のしかた 7
　メニュー画面の説明 8
仕　様 12
　付属品 12

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

⚠ 警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

水にぬらさない
本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

指定外の電源電圧で使用しない
表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

電源コードを傷つけない
電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

禁　止

設置場所の強度を確認する
取付金具類を含む全重量に十分耐えられる強度のある所に取り付けてください。
十分な強度がないと落下して、けがの原因となります。

強　制

TOA 株式会社

⚠警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

屋外に設置しない

本機は、屋内専用品です。
屋外に設置すると、部品の劣化により、機器が落下して、けがの原因となります。
また、雨などがかかると、感電の原因となります。

禁　止

適切なねじ類を使用する

壁の材質、構造に適したねじ類を使用してください。
守らないと、落下して、けがの原因となります。

強　制

常に振動する場所に取り付けない

振動で金具が破損し、落下して、けがの原因となります。

禁　止

⚠注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

禁　止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

禁　止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜け

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

概　要

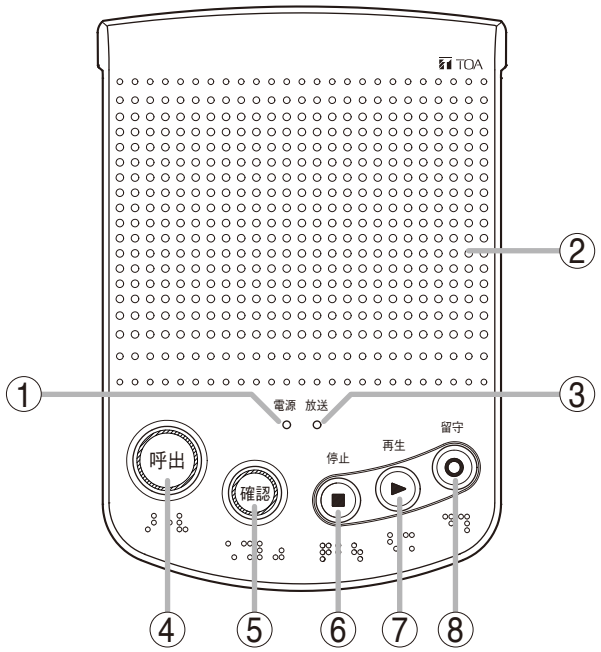
NX-220HU（本書では端末と呼ぶ）は、IP 告知システムの端末です。IP 告知送信機 NX-220CT（本書では送信機と呼ぶ）からの放送を受信したり、別の端末と通話したりすることができます。
留守番録音モードを備えており、放送を録音することができます。
ライン出力、スピーカー出力、制御出力端子を持つほか、IP 告知端末コネクターユニット NX-220HU-C（本書ではコネクターユニットと呼ぶ）やリモートマイク PM-660D（別売）と組み合わせることにより、端末から放送を行うことができます。

使用上のご注意

- 温度 0 ～ +40℃、湿度 90% 以下の場所（ただし結露しないこと）で使用してください。
- 本機をピアノ、ガラステーブルなど、傷付きやすいものの上に直接置かないでください。
  傷、ひび割れなどの原因となることがあります。
- 本機を清掃するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布でふいてください。また、ひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布を使用してください。ベンジン・シンナー・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因になります。

各部の名称とはたらき

［上面］



1. 電源表示灯（緑色）
本機に電源が供給されると点灯します。

2. スピーカー
拡声用のスピーカーで放送、着信音を流したり、ハンズフリー通話に使用したりします。

3. 放送表示灯（橙色）
放送受信中、通話中、録音ファイル再生中に点灯します。
内部の記憶媒体（フラッシュメモリー）へデータの書き込み中は点滅します。

4.［呼出］ボタン
相手を呼び出したり、呼び出しを受けたりするときなどに使用します。

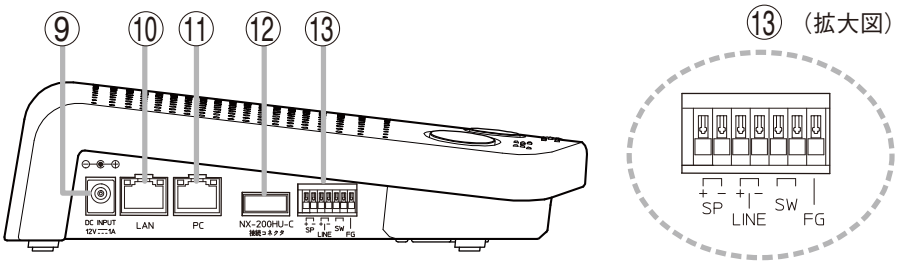
5.［確認］ボタン
応答確認を行うときに使用します。

6.［停止］ボタン
再生中の留守番録音ファイルを停止するときに使用します。

7.［再生］ボタン
留守番録音ファイルを再生するときに使用します。

8.［留守］ボタン
留守番録音を開始、停止するときに使用します。

［左側面］



⑬（拡大図）

9. 電源入力端子
付属の AC アダプターを接続します。

10. ネットワーク接続端子［LAN］
10BASE-T または 100BASE-TX に対応したネットワークに接続します。
（イーサネット RJ-45 ジャック）

11. パソコン接続端子［PC］
パソコンをカスケード接続できます。
（イーサネット RJ-45 ジャック）

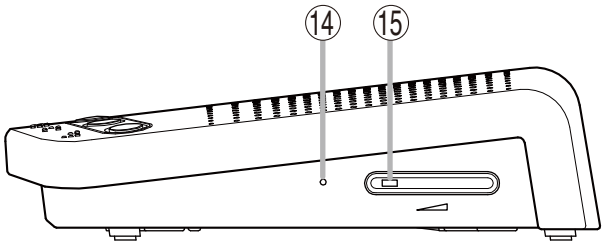
12. NX-220HU-C コネクターユニット接続端子
コネクターユニットを接続します。

13. 音声／制御出力端子

- SP［外部スピーカー出力端子］
  1 W、8 Ω です。
  端末に外部スピーカーを直接接続する場合に使用します。音量は、音量調節つまみ（15）で変更します。ブラウザーで、出力する放送の優先度を設定できます。
- LINE［アンプ出力端子］
  0 dB *、10 kΩ、不平衡型です。
  端末にアンプを接続して、外部スピーカーで拡声する場合に使用します。
- SW［制御出力端子］
  リレー接点出力（耐電圧：DC30 V、制御電流：最大 1 A）です。ブラウザーで、出力する条件を設定できます。
- FG［機能アース端子］
  機器を接地するときに使用します。

* 0 dB = 0.775 V

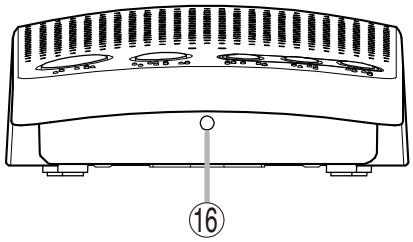
［右側面］



14. RESET ボタン
押すと機器を再起動します。

15. 音量調節つまみ（スライド式）
スピーカー（2）と音声／制御出力端子（13）の「SP」出力の音量を調節します。

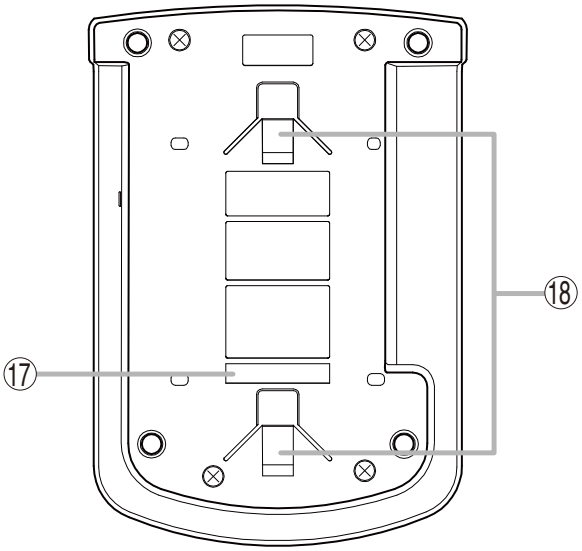
［前面］



16. マイク
通話用の内蔵マイクです。

ご注意
マイクの周りに物を置いたりして、ふさがないでください。通話ができなくなります。

［底面］



17. MAC アドレス
本機の MAC アドレスです。
本機の設置場所と MAC アドレスの対応は、ネットワーク設定をするときに必要ですので、設置時に記録して、後からわかるようにしておいてください。
※ ネットワーク機器につけられた機器固有のアドレスで、12桁の16進数で表現されています。

18. 壁掛金具挿入口
付属の壁掛金具を使用するとき、金具のフックをここに挿入します。

壁に取り付けるとき

1 付属の壁掛金具を壁に取り付ける。

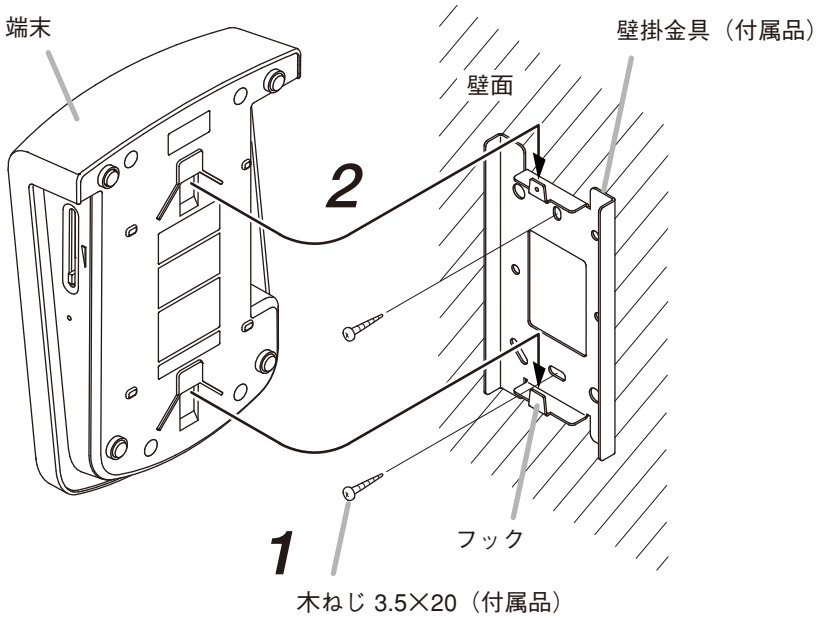
壁掛金具は JIS 規格の 1 個用または 2 個用のスイッチボックスに取り付けることもできます。

ご注意

- 付属の木ねじは、木材の壁面に使用してください。
- その他の壁材用の取付ねじやスイッチボックス用の取付ねじは付属していませんので、適切なねじ類を調達してください。

2 端末を金具のフックに引っ掛けて取り付ける。

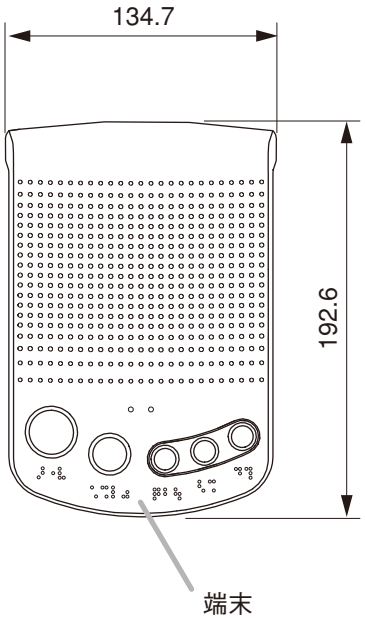
端末本体を矢印方向に押し下げてください。



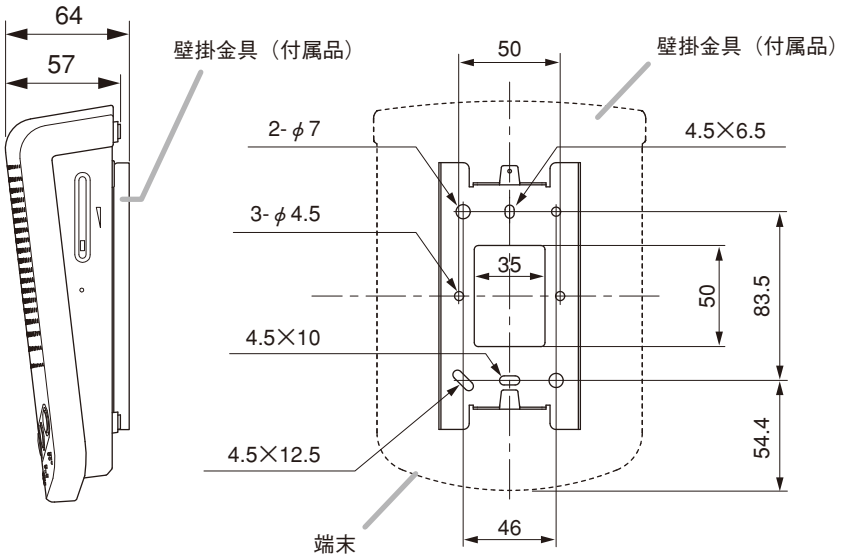
● 取付寸法図

単位：mm

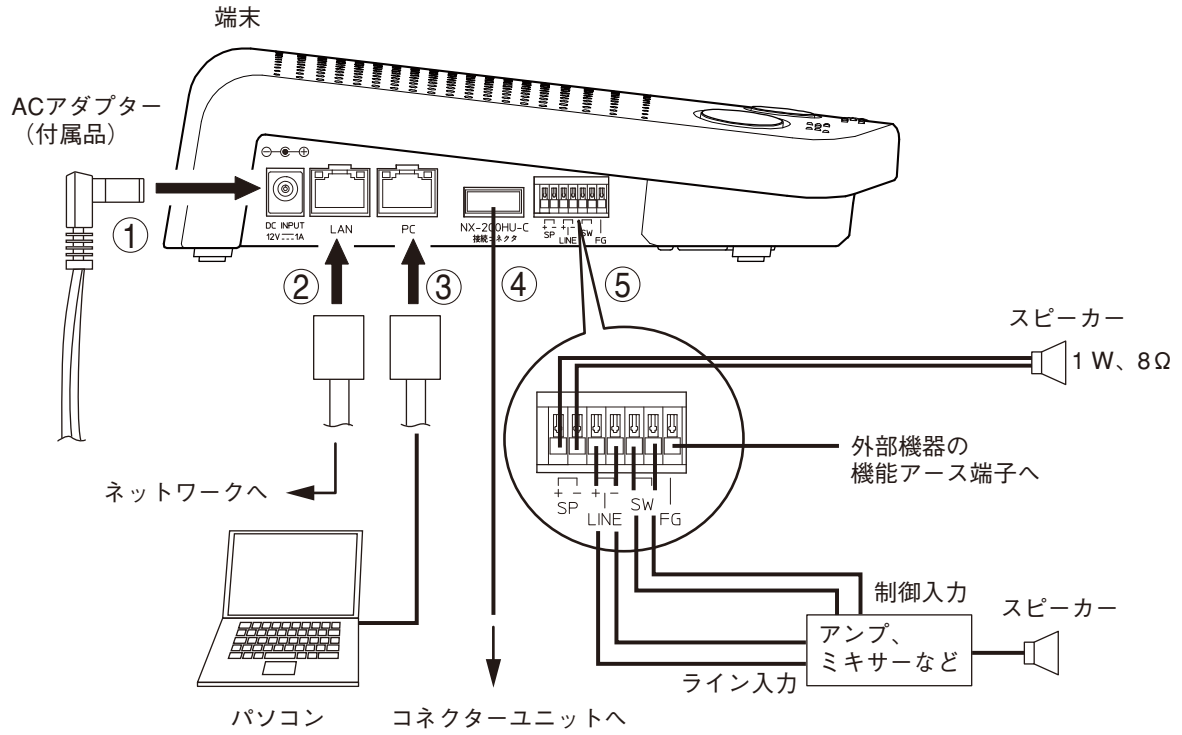
［前面］



［右側面］



接続のしかた



※上図は制御出力（SW）をアンプ起動に使用したときの例です。音声／制御出力端子の機能をブラウザーで設定する必要があります。（設定のしかた ☞ P. 10）

①電源入力端子の接続

付属の AC アダプターを接続します。

② ネットワーク接続端子の接続

10BASE-T/100BASE-TX のネットワークに自動判別で接続できます。
RJ-45 コネクター付き UTP カテゴリー 5 規格のストレートケーブルを使用してください。

③パソコン接続端子の接続

パソコンをカスケード接続することができます。
RJ-45 コネクター付き UTP カテゴリー 5 規格のストレートケーブルを使用してください。

④NX-220HU-C コネクターユニット接続端子の接続

コネクターユニットを組み合わせるときに使用します。
コネクターユニットに付属の NX-220HU 接続用ケーブルを接続します。

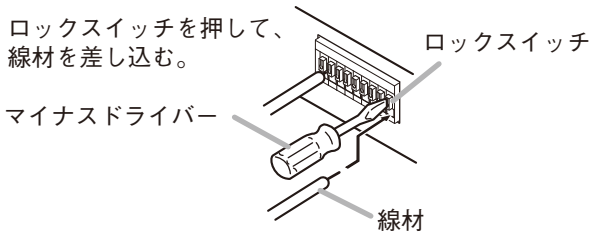
⑤音声／制御出力端子の接続

［仕様］

- SP（外部スピーカー出力）
  1 W、8 Ω
- LINE（アンプ出力）
  0 dB *、10 kΩ、不平衡
- SW（制御出力）
  メイク接点出力、耐電圧 DC30 V、制御電流 最大 1 A

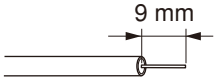
* 0 dB = 0.775 V

［スクリューレスコネクターの接続のしかた］



［線材］

φ0.32～0.65 mm（単線）または
0.08～0.32 mm^2（より線）

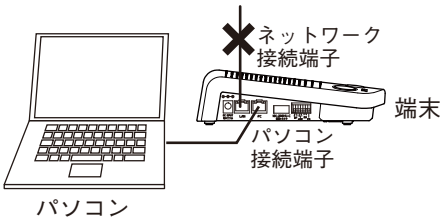


ご注意

- より線を使用するときは、むきしろ部分に、はんだめっきをしないでください。
- 接続端子を間違えないよう、正しく接続してください。間違って接続すると、故障の恐れがあります。

ブラウザーでの設定のしかた

■ ブラウザー使用にあたって



- 同一ネットワーク上に IP アドレスが重複する機器があると、ブラウザーでの設定はできません。そのときは、ネットワークから切り離して接続してください。
- ルーターを超える機器に対して放送、通話などをする場合は、ブラウザーでの設定に加えて、ルーターにも設定が必要です。その場合は、ネットワーク管理者の指示に従って、ルーターの設定を行ってください。
- 設定変更中に電源が切れたり、ネットワークケーブルが断線したりすると、故障の原因となります。
- 設定の変更は、端末の再起動後に反映されます。設定を変更したら必ず再起動してください。再起動時は、放送、通話などの動作が停止されます。
- 「javascript」および「スタイルシート」の機能を使用しています。正しく動作させるため、これらの機能を使用するようにブラウザーの設定を行ってください。
- 動作確認済みのブラウザーは、Internet Explorer 7.0 以上、Firefox 3.5 以上です。

■ ブラウザーでの接続のしかた

1 ブラウザーを起動して以下の URL を入力する。

［IPv4 で接続する場合］http://IPv4 アドレス : ポート番号 /
［IPv6 で接続する場合］http://[IPv6 アドレス]: ポート番号 /

※ ポート番号が 80（初期値）の場合は入力不要です。

初期状態でのネットワーク設定および URL は右記のとおりです。

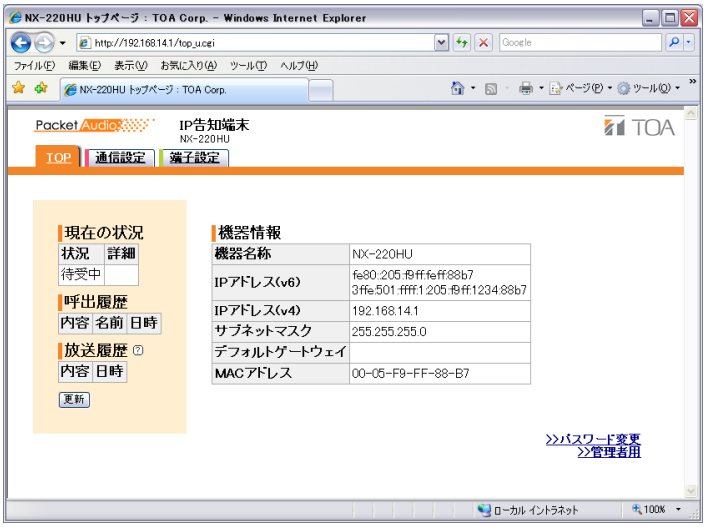
IPv4 アドレス	192.168.14.1
サブネットマスク	255.255.255.0
URL	http://192.168.14.1/

ユーザー認証画面が表示されます。（使用するブラウザーによって、表示される画面は異なります。）

2 ユーザー名とパスワードを入力する。

初期設定ではユーザー名とパスワードは「なし」に設定されています。
メニュー画面（トップページ）が表示されます。

※ 右の画面はトップページの表示例です。設定により、表示される項目は異なります。



■ メニュー画面の説明

● トップページ

メニュー画面で［TOP］タブをクリックすると、トップページ（前ページ、手順 2 の画面）が表示されます。
トップページでは、機器の情報、現在の動作状況、および動作履歴を表示します。

［現在の状況］
端末の現在の通信状態を表示します。

1. 状況
   通信状態を表示します。
   ・待受中　　：何も通信していません。
   ・着信中　　：他の端末から呼び出しがあり、通話中です。
   ・発信中　　：他の端末を呼び出して、通話中です。
   ・放送受信中：放送を受信しています。
   ・放送送信中：この端末から放送をしています。
   ・自局放送中：自局放送をしています。
   ・テスト放送中：無音テスト放送を受信しています。
   ・系統制御中：系統制御を受信しています。
2. 詳細
   呼び出し通話中のとき、相手端末の機器名称を表示します。
   放送送信中のとき、放送の優先度を表示します。

［呼出履歴］
この端末の過去の呼出履歴を 5 件まで表示します。表示されていない場合は［履歴を表示］ボタンまたは［更新］ボタンを押してください。
履歴表示中に［更新］ボタンを押すと、履歴が更新されます。

（履歴表示部分の画面例）

現在の状況

状況	詳細
放送受信中	中央公民館(優先度5)

呼出履歴

内容	名前	日時
着信	本町 高橋	08/21 20:31
発信	西町 田中	08/21 18:57
不在着信	西町 田中	08/21 17:23
着信	南町 金本	08/21 15:49
発信中止	南町 金本	08/21 14:15

放送履歴

内容	日時
西町役場から受信	08/21 20:31
西町消防署から受信	08/21 17:44
中央公民館から受信	08/21 14:58
西町役場から受信	08/21 12:11
No.10へ送信	08/21 09:24

更新

3. 内容
   通信の履歴があれば、表示されます。
   ・着信　　：他の端末から呼び出しがあり、通話しました。
   ・発信　　：他の端末を呼び出して、通話しました。
   ・不在着信：他の端末から呼び出しがありましたが、不在でした。
   ・発信中止：この端末から他の端末を呼び出しましたが、相手が応答しませんでした。
4. 名前
   相手端末の機器名称を表示します。
5. 日時
   その動作が行われた日時を表示します。

［放送履歴］
この端末の過去の放送履歴を 5 件まで表示します。表示されていない場合は［履歴を表示］ボタンまたは［更新］ボタンを押してください。
履歴表示中に［更新］ボタンを押すと、履歴が更新されます。

6. 内容
   通信の履歴があれば、表示されます。
   ・放送受信時：「（送信元の機器名称）から受信」と表示します。
   ・放送送信時：「（放送先グループ番号）へ送信」と表示します。
   ・自局放送時：「自局放送」と表示します。
7. 日時
   その動作が行われた日時を表示します。

［機器情報］

8. 機器名称
   この端末の名前*1 を表示します。
9. IP アドレス（v6）*2
   この端末の IPv6 アドレス*1 を表示します。
10. IP アドレス（v4）*2
    この端末の IPv4 アドレス*1 を表示します。初期値は「192.168.14.1」です。
11. サブネットマスク*2
    この端末のサブネットマスク*1 を表示します。初期値は「255.255.255.0」です。
12. デフォルトゲートウェイ*2
    デフォルトゲートウェイ*1 を表示します。初期値は「なし」です。
13. MAC アドレス
    この端末の MAC アドレスが表示されます。変更はできません。

*1 管理者モードのページへ移行するには、管理者用のユーザー名とパスワード（P. 7 で入力したものとは別に設定されています。）が必要です。
管理者モードについては、ネットワーク担当者にお問い合わせください。
*2 IPv4/v6 動作設定が「IPv6 のみ」に設定されている場合は表示されません。設定の変更は管理者モードのページで行います。

［パスワード変更］
ユーザーパスワード設定ページへ移動します。
ユーザー名とパスワードを半角英数字 15 文字以内で入力し、［パスワード変更］ボタンを押すと、変更できます。

ユーザー パスワード設定

ユーザー名	(15文字の半角英数字)
パスワード	新しいパスワード 新しいパスワード(確認) (15文字の半角英数字)

パスワード変更

［管理者用］
管理者モードのページへ移行できます。ただし、管理者用のユーザー名とパスワード（P. 7 で入力したものとは別に設定されています。）を入力する必要があります。

● 通信設定

メニュー画面で［通信設定］タブをクリックすると、通信設定画面が表示されます。放送、メールなど、通信に関する設定を行います。
通信設定の中でさらに放送・呼出設定、メール設定の 2 つの画面に分かれていますので、それぞれのタブを選択して設定してください。

〈放送・呼出設定画面〉

［呼出機能：呼出通話］

1. 使用する

呼出通話機能を使用時はチェックを入れます。

ご注意

「使用する」にチェックを入れないと、通話先アドレス、自動転送時間、およびリスト巡回数の設定はできません。

2. 通話先 IP アドレス

呼出通話で接続する相手端末の IP アドレスを指定します。最大 4 箇所、設定可能です。

3. 自動転送時間

通話先が不応答の場合、自動で次の通話先へ転送するまでの応答待ち時間を設定します。
10 秒（初期値）、20 秒、30 秒から選択します。

ご注意

通話先が 1 箇所のみの場合、自動転送は無効です。発信をキャンセルするまで呼び出しを継続します。

4. リスト巡回数

設定された通話先リストに対して、自動転送を何周するかを設定します。
「1 回（繰り返しなし）」～「4 回」から選択します。（初期値：1 回）
通話先が 1 箇所のみの場合、自動転送は無効のため設定できません。

［呼出機能：呼出メール］

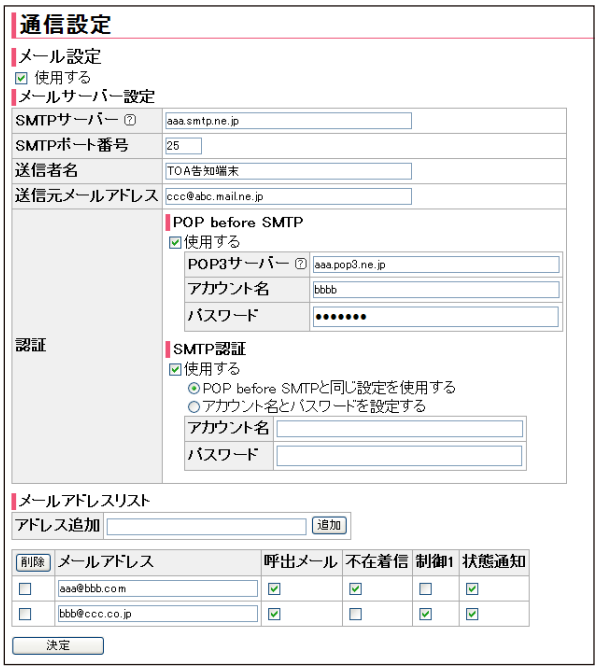
5. 呼出メール送信先

メール設定画面で登録されたメールアドレスが表示されますので、［呼出］ボタンを押して E メールで通知する相手先のメールアドレスにチェックを入れます。
通知内容は次の定型文です。
件名「告知端末からのお知らせ」
本文「（機器名称）より呼出メールです。」

6. 不在着信メール送信先

メール設定画面で登録されたメールアドレスが表示されますので、留守番録音モード時に他の端末から呼び出しがあったときに、E メールで通知する相手先のメールアドレスにチェックを入れます。
通知内容は次の定型文です。
件名「告知端末からのお知らせ」
本文「（送信元機器名称）より不在着信がありました。」

〈メール設定画面〉



［メール設定］

7. 使用する

メール機能を使用時はチェックを入れます。

ご注意

「使用する」にチェックを入れないと、メールサーバーおよびメールアドレスリストの設定はできません。

［メールサーバー設定］

メールサーバーの設定と、メールアドレスの変更を行います。

8. SMTP サーバー

SMTP サーバーの IP アドレスまたはサーバー名を入力します。

9. SMTP ポート番号

SMTP で使用するポート番号を設定します。
（初期値：25）

10. 送信者名

メール送信時に送信者名を表示したい場合は、送信者名を入力します。全角 16 文字または半角 32 文字以内で入力してください。

11. 送信元メールアドレス

メール送信時に送信元メールアドレスを表示したい場合は、送信元メールアドレスを入力します。

12. 認証

メールサーバー認証用の設定をします。
POP before SMTP と SMTP 認証に対応しています。
［POP before SMTP］
・使用する
POP before SMTP を使用する場合はチェックを入れます。
・POP3 サーバー
POP3 サーバーの IP アドレスまたはサーバー名を入力します。
・アカウント名
POP3 で使用するアカウント名を入力します。
・パスワード
POP3 で使用するパスワードを入力します。
［SMTP 認証］
・使用する
SMTP 認証を使用する場合はチェックを入れます。使用できる認証方式は PLAIN 方式です。
・POP before SMTP と同じ設定を使用する
POP3 と同じアカウント名、パスワードを使用する場合に選択すると、アカウント名、パスワードの入力を省略できます。
・アカウント名とパスワードを設定する
SMTP で使用するアカウント名、パスワードを入力する場合に選択します。
・アカウント名
SMTP で使用するアカウント名を入力します。
・パスワード
SMTP で使用するパスワードを入力します。

［メールアドレスリスト］
メール送信先の編集を行います。また、メール送信先ごとに使用する各機能をまとめて設定できます。

13. アドレス追加

送信先のメールアドレスを新規に登録します。
メールアドレスを入力し、［追加］ボタンを押すと、メールアドレスリストに追加されます。
最大 10 件登録できます。

14. 削除

登録されたメールアドレスを削除します。
削除チェックボックスにチェックを入れ、［削除］ボタンを押すと、メールアドレスリストから削除されます。

15. メールアドレス

アドレス追加（13）で登録したメールアドレスが表示されます。
この欄で変更することができます。編集したときは、［決定］ボタンを押して変更内容を決定してください。

16. 機能選択欄

メールアドレスごとにどの機能を使用するか設定します。使用する機能にチェックを入れてください。
呼出機能の設定画面でも設定できます。

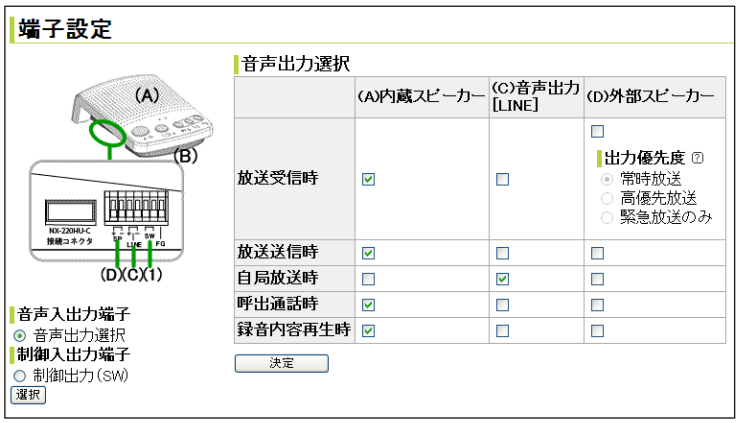
・呼出メール
端末の［呼出］ボタンを押したときに E メールを送信します。
通知内容は次の定型文です。
件名「告知端末からのお知らせ」、本文「（機器名称）より呼出メールです。」

・不在着信
留守番録音モード時に他の端末から呼び出しがあったときに E メールを送信します。
通知内容は次の定型文です。
件名「告知端末からのお知らせ」、本文「（送信元機器名称）より不在着信がありました。」

・状態通知
自機に動作エラーが発生したとき、およびコネクターユニットの状態通知機能が選択された制御入力チャンネルの状態が変化したとき E メールを送信します。
通知内容は次の定型文です。
件名「告知端末からのお知らせ」
本文
・動作エラー発生時「（機器名称）にて○○エラーが発生しました。」（○○は機能名）
・制御入力が ON になったとき「（機器名称）の制御入力 ch △番が ON になりました。」（△は制御入力チャンネル番号）
・制御入力が OFF になったとき「（機器名称）の制御入力 ch □番が OFF になりました。」（□は制御入力チャンネル番号）
状態通知設定画面でも設定できます。

● 端子設定

メニュー画面で［端子設定］タブをクリックすると、端子設定画面が表示されます。端末とコネクターユニットの音声入出力部および制御の設定を行います。ただし、コネクターユニットの端子に関する設定項目は、コネクターユニットを接続していないと表示されません。
端子設定画面での設定の手順は次のとおりです。



1 「音声入出力端子」「制御入出力端子」から設定したい端子を選択し、［選択］ボタンを押す。
端子を選択すると、その端子の設定項目が画面右側に表示されます。

2 内容を設定する。

音声入出力端子の設定は、各機能で使用する出力端子を選択してください。
制御入出力端子の設定は、「使用する」にチェックを入れて、各項目を設定してください。

3 [決定] ボタンを押す。

4 手順 1 ～ 3 を繰り返し、使用するすべての端子の内容を設定する。

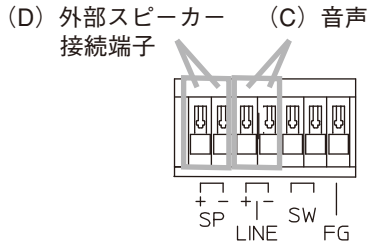
[音声出力選択]
端子設定画面で「音声出力選択」を選択すると、設定項目が表示されます。
各機能で使用する音声出力端子を選択します。

音声出力選択

	(A)内蔵スピーカー	(C)音声出力[LINE]	(D)外部スピーカー
放送受信時	☑	☐	☐ 出力優先度 ⑦ ◉ 常時放送 ○ 高優先放送 ○ 緊急放送のみ
放送送信時	☑	☐	☐
自局放送時	☐	☑	☐
呼出通話時	☑	☐	☐
録音内容再生時	☑	☐	☐

(A) 内蔵スピーカー　：端末の内蔵スピーカー
(C) 音声出力 [LINE]　：端末側面の LINE 端子
(D) 外部スピーカー　：端末側面の SP 端子

[端末の音声出力端子]



1. 放送受信時
放送受信時に使用する音声出力にチェックを入れて選択します。(初期設定：内蔵スピーカーのみ使用)
使用する端子は複数同時に選択できます。

[出力優先度] (外部スピーカー選択時のみ)
この端子に接続している外部スピーカーで拡声する放送の優先度を設定します。
以下のいずれかを選択します。
・常時放送
放送受信時はいつでもスピーカー出力を使用します。
・高優先放送
優先度「1」～「5」の放送時にスピーカー出力を使用します。
・緊急放送のみ
優先度「1」の放送 (緊急放送) のときのみスピーカー出力を使用します。

2. 放送送信時
放送送信時に、モニターに使用する音声出力にチェックを入れて選択します。(初期設定：内蔵スピーカーのみ使用)
使用する端子は複数同時に選択できます。

3. 自局放送時
自局放送時に使用する音声出力にチェックを入れて選択します。(初期設定：音声出力 [LINE] のみ使用)
使用する端子は複数同時に選択できます。

4. 呼出通話時
呼出通話で使用する音声出力を選択します。(初期設定：内蔵スピーカーのみ使用)
使用する端子は複数同時に選択できます。

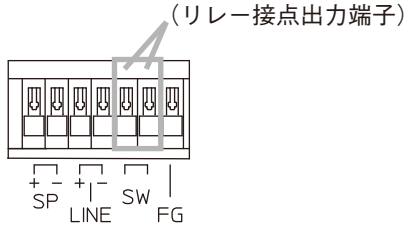
5. 録音内容再生時
録音内容の再生時に使用する音声出力にチェックを入れて選択します。(初期設定：内蔵スピーカーのみ使用)
使用する端子は複数同時に選択できます。

[制御出力 (SW)]
端子設定画面で [制御出力 (SW)] を選択すると、設定項目が表示されます。
この端子に放送、呼び出しなどの機能を割り当てることができます。

(1)制御出力(SW)

☐ 使用する		
種類	◉ モーメンタリ ○ ラッチ	
極性	◉ メイク ○ ブレイク	
機能	◉ 放送受信時, 自局放送時	出力優先度 ⑦ ◉ 常時放送 ○ 高優先放送 ○ 緊急放送のみ
	○ 放送送信中	
	○ 応答確認中	
	○ 呼出通話中	
	○ 状態通知出力	☐ エラー発生時出力
	○ 音声系点検中	
	○ 録音内容再生中	
	○ 系統制御	系統選択 1

[端末の制御出力端子]



6. 使用する
端末の制御出力 (SW) 端子を使用するときはチェックを入れます。(初期設定：使用しない)

7. 種類

制御出力（SW）端子の種類を「モーメンタリ」または「ラッチ」から選択します。

・モーメンタリ
　各機能の開始から終了までの間出力します。

・ラッチ
　各機能の開始時と終了時それぞれに、1 秒間出力します。

8. 極性

制御出力（SW）端子の極性を「メイク」または「ブレイク」から選択します。

・メイク　：接点クローズ時が ON となります。

・ブレイク：接点オープン時が ON となります。

9. 機能

① 放送受信時、自局放送時

放送受信中、および自局放送中に出力します。

［出力優先度］

制御出力（SW）端子が出力する放送の優先度を設定します。

・常時放送　：放送受信時は常に出力します。

・高優先放送：優先度「1」～「5」の放送で出力します。

・緊急放送のみ：優先度「1」の放送（緊急放送）のみ出力します。

② 放送送信中

放送送信中に出力します。

③ 応答確認中

確認要求を受信したときに出力します。

④ 呼出通話中

呼出通話発信中および着信中に出力します。

⑤ 状態通知出力

他機からの制御出力への状態通知を受信したときに出力します。

［エラー発生時出力］

自機に動作エラーが発生した時に出力させるときはチェックを入れます。（初期設定：使用しない）

⑥ 音声系点検中

音声系点検要求を受信したときに出力します。

⑦ 録音内容再生中

録音内容の再生中に出力します。

⑧ 系統制御

系統制御要求を受信したときに出力します。

［系統選択］

割り当てる系統番号を「1」～「32」から選択します。（初期値：1）

仕　様

電源		AC100 V、50/60 Hz（付属の AC アダプターから供給）
消費電力		8 W（定格時）、10 W（ピーク時）
スピーカー		7.7 cm コーン型、1 W、8 Ω
使用マイクロホン		無指向性エレクトレットコンデンサー型
制御出力		1 系統、耐電圧：DC30 V、短絡電流：1 A、リレー出力、スクリューレスコネクター（7P）
音声出力		0 dB *、10 kΩ、不平衡、スクリューレスコネクター（7P）
外部スピーカー		1 W、8 Ω、スクリューレスコネクター（7P）
ネットワーク部	ネットワークI/F	10BASE-T/100BASE-TX　自動／手動切り換え、MDI/MDI-X　自動切り換え
	ネットワークプロトコル	TCP/IP、UDP、HTTP、RTP、IGMP、IPv6、MLD
	音声パケット伝送方式	放送送信時：マルチキャスト（最大同時 8 放送グループ）、ユニキャスト（1 カ所のみ） 通話時　：ユニキャスト
	接続コネクター	LAN、PC：RJ-45 コネクター
	音声サンプリング周波数	16 kHz（放送、通話時）
	ビットレート	マルチキャスト放送時：97 kbps、ユニキャスト放送時：97 kbps、通話時：260 kbps
	量子化ビット数	16 ビット
	音声符号化方式	Sub-band ADPCM
	音声パケット欠落補正	無音挿入
	音声遅延時間	放送送信時：マルチキャスト 160 ms、ユニキャスト 160 ms 通話時　：ユニキャスト 80 ms
設置方法		卓上／壁掛け兼用（壁掛け時は付属の壁掛金具を使用）
使用温度範囲		0 ～ 40℃
使用湿度範囲		90%RH 以下（ただし結露のないこと）
仕上げ		上ケース：ABS 樹脂、メタリックシルバー、塗装 下ケース：ABS 樹脂、グレー
寸法		134.5（幅）× 57（高さ）× 192.6（奥行）mm
質量		470 g
付属品		AC アダプター ... 1、壁掛金具 ... 1、木ねじ 3.5 × 20 ... 2

* 0 dB ＝ 0.775 V

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

TOA

商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。

TOA お客様相談センター
商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。
受付時間　9:00 ～ 17:00（土日、祝日除く）

フリーダイヤル 0120-108-117
ナビダイヤル　0570-064-475（有料）
FAX　0570-017-108（有料）
※ PHS、IP 電話からはつながりません。

TOA ホームページ　http://www.toa.co.jp/

133-06-287-6G